

公演企画書

隆善舞台第六回プロデュース公演

近代能楽集

葵上／班女

広報連絡先

隆善舞台

制作 鳴海琢元

TEL : 090-4026-1584

Mail : ryuuzenbutai@gmail.com

新しい生活様式 × 演劇

未曾有の新型コロナウイルス感染症による混沌の中、演劇界は「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。」の境地です。コロナウイルス感染症の対策として公演中止を余儀なくされる団体が後を絶たず、このままでは「演劇」というそのものの文化が絶えてしまう危険性があります。演劇が生き続けるためには、公演を絶やさないことが必要で、コロナ禍の新しい生活様式に即した、「新しい演劇生活」を作っていかなければなりません。私たち隆善舞台は「新しい演劇生活」を提供できるよう、本公演を企画いたしました。

コロナ禍では、新しい生活様式に対応するため、感染症対策のガイドラインをもとに暗中模索しながら公演は生み出されています。しかし、私たちは「公演基準を満たす」という観客への安全の提示することには収まらず、その様を演出に組み込むという新たな驚きをもっている公演こそが求められると考えています。

今回の近代能楽集は古典の能楽を戦後という時代に合わせて生まれた作品集です。いわば不変のテーマを持った作品集だからこそ、今、この時代に合わせて調理されることの可能性を秘めています。「葵上」はご存じ“生霊”によるミステリーホラーです。作中で六条康子は生霊となり自分自身に居直って別れた恋人のもとに訪れます。今、自分自身主義が敵意を持ち、非マスク着用や、ソーシャルディスタンスを守らない存在、ひいては白人至上主義やLGBTQまで及びおそいかかる、そういった事実に向き合うチャンスになりえます。

そして、続く「班女」においては、さらに満たされない純愛は狂気を持って思いを深くし、その思いは現実をも凌駕してしまう事象について語られています。待ち焦がれた恋人本人からは、恋人を感じられないという感覚。その狂気を受け入れるもの、受け入れないもの、そしてその背景に存在する闇と、それを惑わすあやかしの夕日を演出において、役者と観客のディスタンスを念頭に仕掛けを講じました。ぜひ、新しい演劇生活へのチャレンジにご参加ください。

隆善舞台第六回プロデュース公演 「近代能楽集 葵上 / 班女」

演出：坂川善樹（隆善舞台） 作：三島由紀夫

場所：前橋市芸術文化れんが蔵（前橋市三河町一丁目 16-27）

日程：2020年2月11日（木・祝）～14日（日）（各5回ずつ10回公演予定）

2/11(木)	2/13(土)	2/14(日)
11:30～「葵上」	11:30～「班女」	11:30～「葵上」
14:30～「班女」	14:30～「葵上」	14:30～「班女」
17:00～「葵上」	17:00～「班女」	
20:00～「班女」	20:00～「葵上」	

料金：1,000円（中学生以下無料）

完全予約制 一公演あたり20名限定

12月1日（火）よりチケット予約開始予定。オンライン決済を想定中。

※COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の流行に伴い、公演概要を一部変更する場合がございます。

葵上

入院して毎夜うなされ苦しむ妻・葵のもとへ、夫・若林光が見舞いに訪れた。看護師によると毎晩見舞いに来るブルジョア風の女がいるという。光が病室にいと、和服姿に黒い手袋をつけた六条康子が現れた。光と康子はかつて恋仲であった。毎夜、葵を苦しめていたのは嫉妬心に駆られた六条康子の生霊であった。康子（生霊）は光の気持ちを自分のほうへ向けようとするが・・・。

※出演者はオーディションを開催し決定します。

班女

画家志望の40歳の女・本田実子は不安であった。彼女の家に住まわせている美女・花子の古風なロマンスのことが新聞記事になってしまったからだ。花子はかつてひとりの男・吉雄を愛し、扇を交換した。いつか会えることを願って駅のベンチで男を待ち続けているうちに狂気に陥ってしまっていた。その記事がいずれ吉雄の目にとまり、二人が再会してしまうのではないかと実子は恐れた。実子は花子の美しさを愛し、その美を独占し続けるつもりであったが・・・。

出演者 本田実子：山崎香
花 子：anir
吉 雄：富井大遥

本公演における新型コロナウイルス感染予防対策

本公演は緊急事態舞台芸術ネットワークより発表されている「舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に則り感染症対策に万全を期した状態で公演を開催いたします。

● 公演前の対策

ひと公演当たりの来場者数を 20 名に限定し、チケットシステム等に事前に把握している範囲で、公演ごとに、来場者の氏名、及び緊急連絡先の把握をする。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。

来場前の検温の実施の要請のほか、来館を控えてもらうケースを事前に周知する。

感染防止のため、来場者する際にマスク着用の上来場するよう呼びかける。

● 公演後の対策

事前に余裕を持った退場時間を設定し、出待ちや面会等は控えるよう呼び掛ける。

公演ごとに来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成し保存する。(保存期間を当面 1 か月以上とする)。なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講ずる。

感染が疑われる者が発生した場合には速やかに連携が図れるよう、所轄の保健所との連絡体制を整え、必要な情報提供を行う。

● 会場内の各所における対応策

会場内（会場入口、チケット窓口）において、列を作る際などには可能な限り間隔を開けるよう案内し、人が密集しないよう努める。

手洗い、手指の消毒を励行する。

公演の前後に必ず会場内の消毒・換気を行う。

座席は適切に感染予防措置がとれる席配置とする。

座席の最前列席は舞台上、もしくは俳優の演技エリアから十分な距離を取る。

客席では、マスクを着用し、自席で会話をしないよう周知する。

チケット窓口ではマスクの着用とともに、透明ビニールカーテンを設置し、購買者との間を遮蔽するよう努める。

現金の取扱いを極力減らすため、オンラインチケットの販売を行う。

清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋の着用を徹底する。

作業を終えた後は、手洗いや手指消毒を行う。

● 公演当日の対策

感染予防のため、来場者に対し以下について周知をする。

- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い
- ・手指の消毒の徹底
- ・フィジカルディスタンスの確保の徹底
- ・下記の症状に該当する場合、来場を控えること。
37.5°C以上の発熱、極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、頭痛、下痢、嘔気・嘔吐

以下の場合には、入場しないよう要請する。

- 発熱があり検温の結果、37.5°C以上の発熱があった場合
- 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等

パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避ける。

プレゼント、差し入れ、祝花等は控えるよう呼び掛ける。

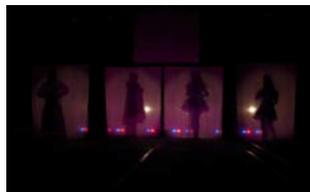
感染が疑われる者が発生した場合、速やかに医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受ける。

隆善舞台 (リュウゼンブタイ)

隆善舞台は2016年8月より坂川善樹(前橋市)が、演出家、舞台監督、照明、音響、俳優として活動開始。2017年度より制作に鳴海琢元(高崎市)が加入し、活動の枠を広げるべく舞台公演を行うようになる。2018年2月に初のプロデュース公演として北村想作「寿歌」を前橋芸術文化れんが蔵にて行う。会場内を360度見回すことのできる舞台として使用したり、2週に渡り8回公演するなど、様々な実験的な試みを取り入れ、初公演ながら地方を拠点に活動する劇団としては異例の350名が来場。

その後も「プロデュース公演」と題し、群馬で活躍する俳優をその都度招き、精力的に公演を行なっている。舞台裏方に精通したスタッフ陣が盤石の体制を整えることで、より高いクオリティを目指す。県内では珍しく、複数回公演、シャッフルキャストなど、俳優がより多くの場数を踏めるような環境の創作や新たなチケットの販売方法、宣伝方法の模索など、制作面でも数々の試みを企てている。

1960年代中期から1970年代前半にかけて全盛期を迎えたアンガラ演劇を主軸に、この時代の人々が抱える問題を折り込み、現代テイストに仕上げるのが特徴である。



坂川善樹 (サカガワヨシキ)

演出家、役者、舞台監督。隆善舞台主宰。アーツサウンドビジュアル専門学校講師。群馬県高崎市出身、前橋市在住。高校演劇を経て、群馬県高崎市の市民劇団に所属、その後都内某劇団に入団し研究生として演出部、俳優部を経験。1998年より帰郷。現在は前橋市を中心に地域芸術活動を、舞台監督、音響、照明などでサポート、イベント運営、高校演劇や地域市民劇団に演劇全般の指導を行っている。



近年の主な活動

2017年	隆善舞台「寿歌」	演出
	隆善舞台「星の王子さま」	演出
2018年	隆善舞台「救いの猫ロリータはいま…」	演出
	まえばし市民ミュージカル「鎮魂華」	舞台監督・役者
	アフガニスタン演劇『修復不能』リーディング公演	出演
	農村舞台でシェイクスピア	舞台監督
2019年	隆善舞台「寿歌」	演出・出演
2020年	隆善舞台「愛しのメディア」	演出
	隆善舞台「近代能楽集 葵上／班女」	演出